

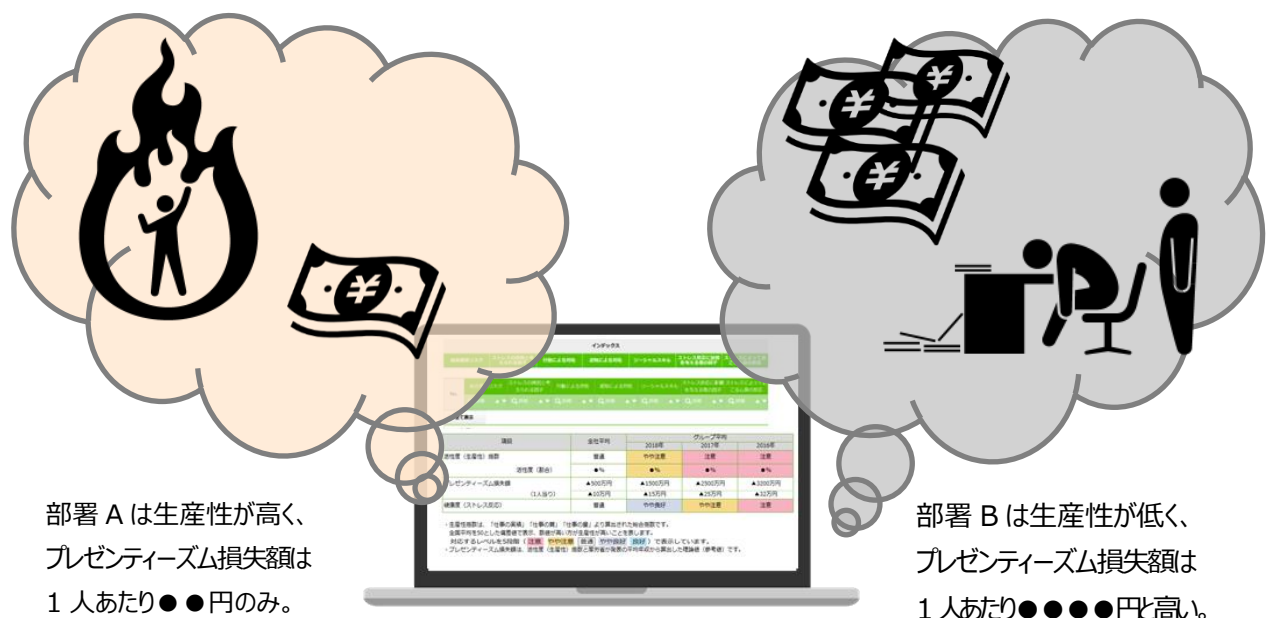
【業界初】新機能リリース

従業員のストレスチェックの結果から、自社の「活性度(生産性)」やパフォーマンス低下による「プレゼンティーズム損失額」*がわかる！
業界初の新機能『プレゼンティーズム分析レポート』を、ストレスチェックシステムに標準搭載

株式会社保健同人社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中島 敏樹、以下保健同人社)と株式会社ヒューマネージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:齋藤 亮三、以下ヒューマネージ)は、ストレスチェックシステム『Co-Labo』の新機能をリリースいたします。業界初の新機能『プレゼンティーズム分析レポート』は2019年度実施分から、『Co-Labo』ご利用企業は無料にてお使いいただけます。

健康経営優良法人(ホワイト500)認定において重要な指標である、
“プレゼンティーズム”**

**3万人を対象とした調査研究に基づき、ストレスチェックの結果から
企業の「活性度(生産性)」や、「プレゼンティーズム損失額」を分析/算出します。**



項目	2018年		2019年	
	基準	実績	基準	実績
生産性(生産性)	●%	●%	●%	●%
プレゼンティーズム損失額	▲100万円	▲100万円	▲200万円	▲300万円
(1人あたり)	▲100万円	▲100万円	▲200万円	▲300万円
健康経営(スコア)	基準	やや良好	やや基準	基準

部署 A は生産性が高く、
プレゼンティーズム損失額は
1人あたり●●円のみ。

部署 B は生産性が低く、
プレゼンティーズム損失額は
1人あたり●●●●円と高い。

*プレゼンティーズム損失額は、本人の生産性に関する自己評価(割合)と厚生労働省発表の平均年収から算出した理論値(参考値)となります。
**「健康経営優良法人」は、経営産業省が創設した認定制度。特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する。うち、「ホワイト500」は大規模法人部門の認定法人を指し、2018年の認定企業は541社(2018年5月1日現在)。

これまで、企業におけるメンタルヘルス支援は、主に“アブセンティーズム”と言われる「欠勤や休職など、心身

の不調により出勤できない状態」の従業員を対象として、予防と対策が講じられてきました。しかし近年、“プレゼンティーズム”（出勤しているにもかかわらず、心身の健康上の問題でパフォーマンスが落ちている状態）が注目を集めており、健康経営優良法人（ホワイト 500）認定においても重要な指標となっています。

メンタルヘルス支援施策のなかで、“プレゼンティーズム”をどのように把握し、効果的にアプローチしていくか。これからの企業の生産性向上における、この重大な課題を解決するべく、保健同人社とヒューマネージは、2018年、NPO 法人健康経営研究会 理事長 岡田邦夫先生と共同研究を実施。約 3 万人の従業員の方々に対して、ストレスチェックと同時に“プレゼンティーズム”評価に関する大規模調査をおこない、このたび、調査結果をもとにした独自の分析機能『プレゼンティーズム分析レポート』をリリースしました。

ご利用企業のメリット:

1 ストレスチェックの結果から、自社の“活性度”プレゼンティーズム損失額”がわかる。 「投資対効果」の視点を加えた組織改善・PDCA が可能です。

約 3 万人を対象に実施した大規模な調査研究（前述）では、プレゼンティーズムに影響を与える要因を特定。得られた調査研究データに基づき、組織の活性度（労働生産性）指数やプレゼンティーズム損失額を測定することができます。

「ストレスチェックは実施したものの、どのように職場改善に取り組みばよいのか…」

「メンタルヘルス施策は、効果がわかりづらい…」

今回の新機能は、ストレスチェックの集団分析に“組織の活性度（労働生産性）指数”や“プレゼンティーズム損失額”を表示。投資対効果の視点をもって、組織改善～その後の PDCA を可能にします。

2 グラフ&コメントで、レポートがわかりやすい。 「経営層向けの全社傾向レポート」など、目的別のアウトプットも自在に出力できます。

集団分析レポートがわかりやすい点は、ストレスチェック『Co-Labo』がご評価いただいている点のひとつ。グラフやコメントを用いたわかりやすいフィードバックに加え、

- 経営層向けの全社傾向レポート（散布図）
- 職場へのフィードバック向け個別分析レポート（部署別、事業所別など、さまざまな項目・登録情報で出力できます）

など、目的に応じたアウトプットを、システムから簡単に出力できます。

3 職業性簡易ストレス調査票をはじめ、多様なストレスチェックに対応。 現在お使いのストレスチェック（過去データ）も、移行できます。

既に実施された『Co-Labo』以外のストレスチェックの回答結果（職業性ストレス簡易調査票（57 項目版）、および新職業性ストレス簡易調査票（80 項目版）は、ストレスチェック『Co-Labo』への移行が可能です。過去のデータを無駄にすることなく、より深い経年分析ができます。

また、今回リリースする『プレゼンティーズム分析機能』は、ストレスチェック『Co-Labo』のすべてのバージョンに搭載されます。

簡易調査票*の内容はカバーしたい企業様は…	Co-Labo 57 (簡易調査票 標準版)
簡易調査票をカバーしつつ、人材育成にも使いたい企業様は…	Co-Labo 57+ (簡易調査票 標準版+人材育成尺度)
より深く・専門的な内容で、組織の生産性を向上させたい企業様は…	Co-Labo 78 (人材育成・組織開発対応版**)
「健康いきいき職場」モデルに基づき、職場環境要因・アウトカムを測定したい企業様は…	Co-Labo 80 (新職業性ストレス簡易調査票対応版)

*職業性ストレス簡易調査票 **コーピング、ソーシャルスキル

価格(税抜):

10,000名想定 330円/名～

ストレスチェック『Co-Labo』について:

2002年、4万人以上のデータをもとに開発され、以降60万人以上の利用実績を誇るストレスチェック。“科学的な根拠”はもちろん、国際規格に準拠した“セキュリティ”と“IT サービスレベル”など、厚労省「労働安全衛生法に基づくストレスチェック実施マニュアル」に準拠しています。「社員に負荷なく最小限で行いたい」企業様から「人材育成に使いたい」企業様まで、ニーズに合わせてお使いいただけます。

企業向け EAP(従業員支援プログラム) サービス『TEAMS』とは:

1988年、電話健康相談から EAP サービスをスタートし、専門職による相談・研修・コンサルティングサービスに強みを持つ保健同人社と、2002年、ストレスチェックを提供開始、特に一次予防に強みを持ち、採用管理システムではシェア第1位*、新卒採用向け適性検査ではシェア第3位*のヒューマネージが共同で提供する EAP サービス。1671法人 970万人以上の利用実績を誇ります。

*「キャリアタス 就職希望企業ランキング」(2018年4月、ディスコ調べ)における採用支援システムならびに適性検査のシェア(ヒューマネージ調査による)

保健同人社 会社概要

<http://corp.hokendohjin.co.jp/corporate/data>

ヒューマネージ 会社概要

<https://www.humanage.co.jp/company/outline.html>

本件に関するお問い合わせ

株式会社保健同人社 業務グループ 広報担当: 内藤(ないとう)

e-mail : pm_info@hokendohjin.co.jp tel : 03-3234-6111 fax : 03-3234-6110

株式会社ヒューマネージ 広報グループ 担当: 山口(やまぐち)

e-mail : info@humanage.co.jp tel : 03-5212-7170 fax : 03-5212-7180

以上